

1 単元(小単元) スーパーマーケットではたらく人

2 目標

- ・販売に携わる人々の実際に関心をもち、自ら働きかけて意欲的に調べようとする。
(関心・意欲・態度)
- ・販売に携わる人々は、消費者のニーズや願いに合わせて工夫していることを考えることができる。
(思考・判断)
- ・インタビューをはじめとした体験活動を通して、働く人の様子を具体的に観察・調査し、見学メモやカードに分かりやすく表現することができる。
(観察・資料活用の技能・表現)
- ・販売に関わる仕事には、それぞれの特色があり、携わる人々は、販売の工夫や努力を続けていることが分かる。
(知識・理解)

3 単元について

本小単元は大単元「人々の仕事とわたしたちの暮らし」の中で、多様化されてきている販売店の代表として大規模小売店のスーパーマーケットを取り上げている。ここでは、地域の人々の消費生活について、品物売る側だけでなく買う側の工夫も取り上げることで、地域の人々の消費生活の特色をより多面的にとらえさせることができることに重点がある。また、商店に買い物に来る人との関わり、商店の商品が他の地域で生産されているという物との関わりとの二面から、自分たちの地域が消費生活を通して、広く国内の他地域との関わりがあることに気付くことができる。このことにより、販売に携わっている人々の工夫について、より広い視野から考えさせることができる単元である。

ほとんどの児童は、日常生活における買い物の経験があり、中には買い物の知恵まで身に付けている児童もいる。しかし、多くは家族が店を選択して利用する理由や自分の生活との関わりまで気付いておらず、社会的事象を客観的に考える力はまだ育っていないと言える。さらに、アンケート調査から児童全員が社会科が好きであり、中でも見学活動や図書やパソコン活用による調べ学習を好む反面、必要な情報を収集するインタビュー活動に苦手意識をもつ児童が多いことが明らかになった。

【事前アンケートによる児童の実態調査】

質問事項	回答内容
スーパーマーケットでの買い物経験	ある.....3.0人 ない.....4人
買い物時、 気をつけたこと (自由記述 複数回答)	消費期限.....1.0人 価格.....9人 おつりの確認.....5人 商品の選別.....3人 買いすぎない.....3人 無回答.....1.0人

質問内容	回答内容
社会は好きか	好き.....3.4人 嫌い.....0人
楽しい活動(複数回答)	人 数
見学	3.1人
本やパソコンで調べる	2.4人
資料(地図・グラフ・写真)から考える	1.5人
インタビュー	6人

そこで、学習の導入時(つかむ)では、買い物経験からスーパーマーケット内で働く人に目を向けさせる。さらに、各自が「店長として理想の店作りを考えよう。」という課題を設定することで、意欲付けを図る。問題追究場面(調べる・まとめる)では、近所のスーパーマーケットの見学を取り入れ、様々な販売工夫の具体的理解を図る。さらに、規定の金額で買い物体験をすることで、買い物に際する消費者の願いを体感できると考える。その際、インタビューやアンケート調査の方法を具体的に指導し、情報収集能力を高めていく。そして、各自の状況を把握し、進んでいる児童にはインタビューやアンケート項目作り、「。。。スーパー秘密の計画書」作りへ進ませ、遅れている児童には基本形式を与え助言するとともに、グループ活動時に、友達の意見を参考にするように支援する。終末場面(広げる)では、「。。。スーパー店長会議」を開き、これまでの学習を総括していく。各自の考えの良さや共通する願いに気付くとともに、自分の見方や考え方を深めることができると考える。単元を通して教室にコーナーを設置し、各自の気付きやインタビュー結果等を掲示し、相互に情報交換できる場とする。このことで、児童の気付きを共有化し思考の日常化を促す。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	技能・表現	知識・理解
・スーパーマーケットに関心を持ち、働く人々の実際を調べたり、体験的な発見を伝えたりしようとしている。	・販売に携わる人々の工夫を見つけるとともに、販売の工夫と消費者のニーズや願いを結び付けて考えている。	・販売の仕事と自分達の生活との関わり、仕事の特色や国内の他地域との関わりについて観察・調査を行い、その結果を見学メモやカードに分かりやすく表現している。	・スーパーマーケットで働く人々の仕事の特色をつかんで、自分の生活とのつながりを理解している。 ・販売に携わる人々は、消費者のニーズや願いをもとに販売の工夫や努力を続けていることを理解している。

5 指導と評価の計画(17時間扱い)

(関)(思・判)(技・表)(知)・・・評価の観点

次時	学 習 活 動	具体的評価規準と評価方法
1 6	スーパーマーケット見学・買い物調べの計画を立て、見学を行う。	(関)スーパーマーケットに関心をもち、経験を生かして働く人々の実際を自ら調べ、伝えようとしている。(発言・見学) (思・判)販売に携わる人々の工夫を体験的に発見し、積極的に説明している。

			(観察・見学カード) (技・表) 確かな視点を持って観察・調査している。(インタビューカード) (知) スーパーマーケットで働く人々の仕事の特色をつかんで、自分の生活とのつながりを理解している。 (行動観察・発言)
2	5	第1・2時 見学をもとに、スーパーマーケットの仕事や販売の工夫についてまとめる。 第3時(本時) アンケート調査をもとに買い物の際気を付けていることを話し合う。 第4・5時 品物の産地調べや買い物客調べ、リサイクル活動への取り組みについて調べる。	(技・表) 調査結果をカードに分かりやすく表現し、伝え合おうとしている。 (発言・質問用紙) (思・判) 販売の工夫や客が店を選ぶ理由を説明している。(発言・ワークシート) (知) 品物やりサイクルを通じた他地域や人との関わりを理解している。 (発言・ノート)
3	3	調べたことをもとにして、「○○スーパー計画書」をまとめる。	(思・判) 販売の工夫と消費者のニーズや願いを結び付けて考えている。 (発言・計画書)
4	3	「○○スーパー店長会議」を開いてまとめるとともに、地域の特色ある店について調べる。	(関) 消費者のニーズや願いを生かした販売の工夫について、意欲的に考えを伝えようとしている。(発表・プリント) (思・判) 店の工夫と自分達の生活との関わりについて考えている。 (発言・ノート)

6 本時の学習

- (1) 目標 買う人(消費者)の立場で、調査結果をもとに買い物への願いに気付くことができる。
- (2) 準備物 集計用紙 掲示用写真(牛乳パック・スーパーマーケット見学) ワークシート
支援用穴抜きカード ショッピングコーナー(教室掲示)
掲示用資料(産地名入りパッケージ)

(3) 展開

時間	学習活動・内容	教師の支援(評価)
3	1 本時の学習課題をつかむ。 買い物をする時、買い物名人は、どんなことに気を付けているのだろう。	・スーパーマーケット見学での買い物時の写真を提示し、今までの買い物経験を想起させ本時の課題解決意欲を高める。 ・牛乳パックの写真を提示することで、買う人の立場になって考えるという本時のねらいの意識化を図る。
25	2 質問カードをもとに集計し、結果をもとに気付いたことをまとめる。 (1) 質問項目毎に集計する。(全体) ・買い物をする時に気をつけること ・品物を選ぶ時に気をつけること ・店への要望 (2) 表やカードから気付いたことや分かったことをワークシートに書く。 各自で書く。 グループで話し合い、共通点を探す。	・集計に時間がかかることが予想されるため事前に集計の方法を教えまとめておき、本時では中心質問の集計を行う。 ・事前にまとめた結果については、各自の読み取りが円滑に進むように、掲示するとともにワークシートに載せる。 ・文章表現に抵抗がある児童には、穴抜き文を用意しておき、必要に応じて支援する。 ・グループ活動では、事前に学習形態や進め方を約束しておき、各自がスムーズに動けるように配慮する。 ・グループリーダーには、メンバーの進み具合によっては話し合いを行わなくてもいいことを確認する。 ・共通点はチェック欄に赤で印を付け、全体の話し合いへの参加意識を高める。 ・安全性について、生鮮食料品の話を例に説明し、家族の健康を守るという視点にも気付かせたい。
15	3 全体で話し合う。 ○表から分かったこと ・○○が一番多い。 ・大体数が同じくらい ○買い物をする時気を付けていること ・安全な品物 ・新鮮な品物 ・値段が安い	(思・判) 質問カードの集計結果から、家の人の買い物に対する願いに気付いている。(発言・ワークシート) ・事前に保護者に記入してもらった買い物に対する願いを読むことで、学習のまとめとする。
2	4 次時の活動を知る。	・資料を提示し、次時は品物の産地調べを行うことを予告する。

- 1 小单元名 スーパーマーケットではたらく人
2 学習計画 14時間扱い

次	時	学習活動
1	2	日常生活での経験をもとに、スーパーマーケットで働く人の仕事や様子を話し合い、学習計画を立てる。
2	8	スーパーマーケット見学や買い物名人へのインタビューを行い、それぞれの工夫や努力に気付く。
3	4	地域の特色ある店と自分たちの生活とのつながりを調べ、自分たちが理想とする店について考える。 (1) コンビニエンスストア、小売店など地域の特色ある店と自分たちの生活のつながりを調べる。 (2) 友達と情報交換をし、自分が考える理想の店について計画書を作る。(本時) (3) 自分のスーパー計画書を作る。 (4) スーパー店長会議を行い、3 - 5理想のスーパー提案書をジャスコに届ける。

3 本時の学習

- (1) ねらい 今まで学習してきたことを生かして理想のスーパーに必要な条件を紹介し合い、
スーパー計画書の構想を立てることができる。
(2) 「聞く力(友達からも学ぶ力)を高める」ための手立て
＊本時の学習では、自分の考える条件を明示したダイヤモンドランキング表を用いてグループ発表に臨み、友達の発表から取り入れたい条件を付け加える場を設定していくことで友達の考えから学ぶ目的意識をもたせ、聞く力を高めていく。

(3) 展開

活動内容	教師の支援 評価
1 本時の課題を確認し、学習の進め方を知る。 スーパーひみつの作せんをしようかいし合い、スーパー計画書を見直そう。	- 本時の課題解決の意欲を高められるように、スーパーマーケット見学時の写真や児童が考えたスーパー名を提示する。 - 学習の進め方に見通しをもち、主体的に活動できるように、流れを掲示する。
2 グループ毎に、一人一人が考えるスーパー秘密の作戦を紹介し合う。 私のスーパーでは、3つのことに気をつけます。1つ目は、新鮮さです。1日に3回温度検査をして、新鮮な物を出します。2つ目は、見やすい品物の札です。お客さんが品物を見付けやすいように、上に看板をつけたり、品物の置いてある場所に札をつけます。3つ目は、産地です。お客さんが安心して買えるように、品物の産地を載せます。	- 自分の考えを分かりやすく伝えられるように、事前にダイヤモンドランキング表と絵カードを準備しておく。 - グループ毎に基本話形を用意し、話すのが苦手な児童には参考にするよう声かけを行う。 - 速く終わったグループには、感想や質問を交流するよう声かけを行う。
3 友達の発表や資料コーナーを参考に、自分の条件を見直す。 たくさんのお客さんが来てくれるために必要な条件かどうか見直す。 新たに自分の条件に加えたい考えを書き出す。	「たくさんのお客さんに来てもらうための工夫」という視点をもとに見直しを図る。 - 新たに取り入れたい考えは色違いの付箋で表し、ダイヤモンドランキング表を整理し直す。 自分の考えを見直し、スーパー計画書の構想を立てている。 (思考・判断 ランキング表・観察)
4 本時の学習をふり返り、次時の見通しをもつ。 <板書計画>	数名の児童に友達の考えから学んだことや感想を話してもらう。

11/25 課

スーパーマーケットではたらく人

スーパーひみつの作せんをしようかいし合い、スーパー計画書を見直そう。

ジャスコ
見学時写真

新せんスーパー

何でもスーパー

グループ学習の進め方

1	2
3	4

順番に作戦を紹介する。
感想・質問タイム
～全員終わったら～
気づいたことをメモ。

たくさんのお客さんに来てもらうための工夫。
ランキング表チェック

↓

考えのつけ足し
新しい考え

【資料】
買い物名人
こつ・願い
グラフ

『 スーパー ひ・み・つ の 計 画 書

ひみつその1： 買い物調べ

ひみつその2： 買い物名人のね・が・い

ひみつその3： お店のプロ：○○○○をさぐれ！

ひみつその4： 品物のさん地大そうさ！！

ひみつその5： リサイクル大作せんプラス○○

もし店長だったら・・・○○スーパー店長の自まん

吾妻に発信！・・・私たちの考えるベストショップ

3 年 組	
-------	--

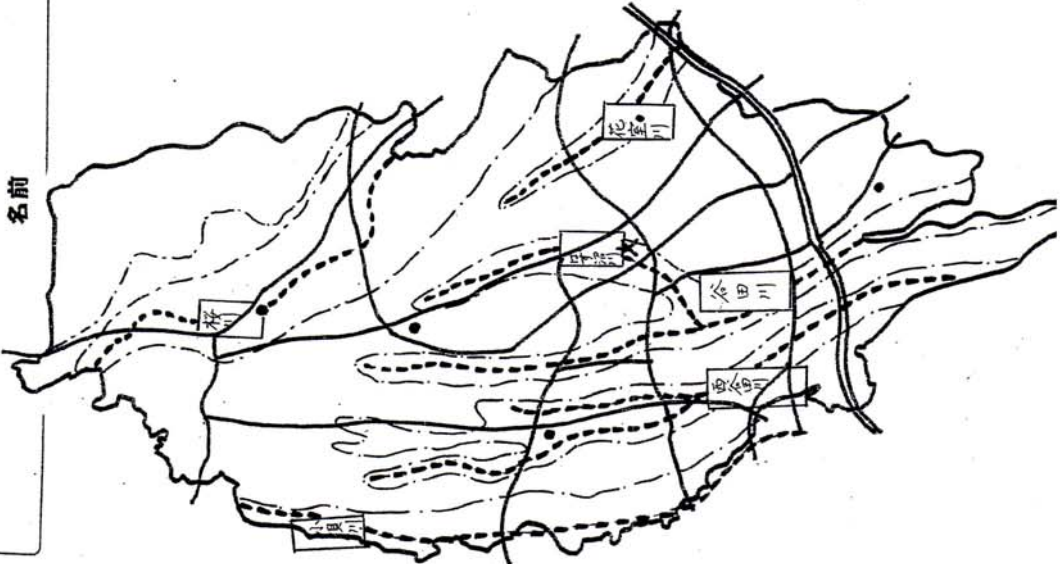


名無し
買い物欄へ

※ 土壇のよいはんにて、店の端所のしちしを書きこみまはし。

つくば市の地図

名前



曜日	番号	店の名前	買った物	たくさんある時には書けるだけでok
10/9 土	① い 10/11	① ジェスロ ② ビーダーバ ③ カワチ薬品 ④ センイレブン ⑤ 生協	肉、にんじん、玉ねぎ、たまご、牛にゆうなど 食パン かせぐすり、おかし おにぎり、さんざつし、スープなど 魚、りんご、たまご、スープなど	
10/10 日				
10/11 月				
10/12 火				
10/13 水				
10/14 木				
10/15 金				

名前【

【ひみつその2：買い物名人のね・が・い】

買い物をする時、買い物名人は、どんなことに気をつけているのだろう。

買い物で気をつけていること

《表・カードから分かったこと・気づいたこと》

5					
0					

【お店への願い】

その他いろいろなサービス

その他いろいろなサービス

[illegible]

【ひみつ3：お店のプロ，○○○○をさぐれ！！】

○○○○では，たくさんのお客さんに来てもらうためにどんな工夫をしていたでしょうか。
自分のスーパーに取り入れたい工夫ベスト3をかきましょう。

【ひみつその4：品物のさん地大そうさ】

- ①品物はどこからとどくのでしょうか。地図の中に表してみましょう。
②品物のさん地を表した地図を見て、気づいたこと・考えたことを書きましょう。

三年 組 名前

北海道地方
北海道

関東地方
茨城県
栃木県
群馬県
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県

東北地方
青森県
宮城県
山形県
岩手県
秋田県
福島県

中国地方
鳥取県
岡山県
山口県
島根県
広島県

中部地方
新潟県
富山県
石川県
福井県
山梨県
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県

四国地方
徳島県
香川県
愛媛県
高知県

近畿地方
三重県
京都府
兵庫県
和歌山県
滋賀県
大阪府
奈良県

九州地方
福岡県
佐賀県
長崎県
熊本県
大分県
宮崎県
鹿児島県
沖縄県

外国

【ひみつその5：リサイクル大作せんプラス○○】

○○○○では、他にどんな工夫をしているでしょう。それは何のためか考えましょう。
地いきの他の店の特ちょうを調べましょう。

○○○○のその他のひみつ

例：リサイクルコーナー

例：広いちゅう車場

例：チラシ・お客様デー

地いきの他の店の特ちょう
コンビニエンスストアー

こじんのお店・せんもん店

いどうはんばい店

商店がい

その他の店 , 地いきの店について分かったこと・考えたこと

名前【 】

【 スーパー 店長の自まん 】

あなたの考える理想のスーパーするために ,取り入れたい工夫ベスト〇をかきましょう。

絵

例：生き生き新せんな商品がずらり！

説明文

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【 これからのお店は，～なってほしい！ 】

例：未来のスーパーマーケットにあったらいいな！
お年寄りに優しい電動買い物カート

○○スーパーひみつの作せん
しょうかいする時のさんこうにしよう！

1 . わたしの○○スーパーでは，○つのことに気をつけます。

2 . 1つ目は， です。
～ のせつ明。

れい：どういうものか。
それをえらんだ理由。など

2つ目は，～。3つ目は，～。

3 . これで，わたしの発表を終わりにします。

1つ～3つについてしょうかいしよう。
3つより多くある人は，見出しだけ
しょうかいしよう。



全員終わったら，『感想・しつ問タイム』



友だちの発表を聞いて気づいたことをメモ。